



支部総会のお知らせ

令和6年度隊友会横浜南支部総会を次のとおり開催します。会員皆様のご参加をお待ちしております。  
 なお、準備の都合上、同封のはがきに所要事項をご記入の上、令和6年4月11日(木)までに返信頂きますようお願いいたします。

◇ 開催日時  
 令和6年4月20日(土)  
 1345～1630

◇ 場所  
 ウイリング横浜12階 研修室123  
 (上大岡駅下車、駅舎と連結したビル)

◇ 時程  
 総会 1345～1445  
 講演会 1500～1630

◇ 講演会講師  
 自衛隊神奈川地方協力本部長 一等海佐 大谷 三穂 氏

講師は自衛隊初の練習艦艦長、護衛艦艦長、イージス艦艦長を歴任された第一線の船乗りであり、前配置は練習艦「かしま」艦長として後進の育成にも当たられています。

令和6年度 横浜南支部運営計画(案)

1 方針

支部は、県本部の方針の下、具体的な事業・活動の計画・実施により隊友会が目指す地域住民と自衛隊との架け橋としての役割を果たすことに努める。この際、大規模災害をはじめとする地域の非常時に貢献できるように横浜市及び自衛隊との連携を図る。

2 重視事項

(1) 自衛隊の諸活動を支援するとともに広く地域住民の防衛意識の高揚に努める。  
 (2) 部隊と自衛隊家族会支部との連携により家族支援態勢の充実を図る。  
 (3) 国民保護に係わる研究や訓練参加を通じ地域社会への貢献に努める。  
 (4) 防災協定に基づく横浜市との具体的な連携を図る。  
 (5) 自衛隊及び友好諸団体が実施する行事等に積極的に参加して相互理解を深める。  
 (6) 支部組織を充実し、会員の増勢に努めて支部の活性化と会員相互の親睦を図る。  
 (7) 予備自衛官招集一日訓練を担当すると共に予備自会員の募集を図る。  
 (8) 地本への募集情報の提供ができるように具体的な施策を実行する。

3 主な行事予定表のとおり。

令和6年度隊友会横浜南支部行事予定表(案)

区分	1/四半期			2/四半期		3/四半期			4/四半期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自衛隊		↔ 25 富士総合火力演習	↔ 15 県隊友会長等合同・定期総会			↔ 九都県市防災訓練	↔ 中央追悼式・音楽まつり・航空観閲式				↔ 11 県自衛隊音楽まつり	
中央本部	↔ 14 県感謝状	↔ 11 1/四県理事役会・在り方検討会	↔ (労働プラザ)	↔ 地域代表世話人会		↔ ビックレスキューかながわ	↔ 県殉職隊員追悼式(武山)	↔ 14 防衛諸団体合同賀詞交歓会(県労働プラザ)			↔ 22 4/四県理事役会・在り方検討会	
県本部	↔ 表彰該当者上申	↔ 被災情報通信訓練	↔ 6 安全防災部会	↔ 15 かわら版発行		↔ 7 2/四県理事役会・在り方検討会	↔ ブロック研修会	↔ 3/四県理事役会・在り方検討会	↔ 15 かわら版発行	↔ 1 県防災図上訓練	↔ 22 安全防災部会	↔ 15 かわら版発行
支部計画	↔ 20 支部総会・講演会	↔ 11 県理事役会・在り方検討会	↔ #1 国民保護勉強会 (セミナー)	↔ #2 家族支援会同 研修(兼定期会同)	↔ 定期会同(暑気払い)	↔ 県理事役会・在り方検討会	↔ #3 家族支援会同 機関紙発行	↔ 国民保護勉強会	↔ 14 県理事役会・在り方検討会	↔ #4 家族支援会同 定期会同(忘年)	↔ 22 県理事役会・在り方検討会	↔ 機関紙発行
支部業務等	↔ 総会準備	↔ 「隊友」発送	↔ 機関紙準備	↔ 研修準備	↔ 機関紙準備	↔ 「隊友」発送	↔ 「隊友」発送	↔ 「隊友」発送	↔ 「隊友」発送	↔ 「隊友」発送	↔ 総会準備	↔ 「隊友」発送
	会費納入形態変更対応、会費納入奨励、会勢拡充活動、部隊訪問等 支部旅行(部隊研修兼ねる) 機関紙発行(一筆啓上特集号) 定期会同(部活動)											

12月16日、神奈川地本の2階で横  
浜南支部の国民保護勉強会が実施さ  
れました。これは、昨年3月の石垣島



国民保護勉強会・卓話

令和6年度横浜南支部役員(案)

特別顧問	富澤 暉	顧問	濱田 堯志	顧問	濱野 靖
顧問	重村 勝弘	顧問	山内 鐵男	顧問	田内 浩
顧問	長谷川 洋	支部長	田原 昭彦	副支部長 事務局長	渡邊 智弘
副支部長	石橋 啓志	副支部長	新開 仁司	常務理事役 (兼)	大津 雅紀
理事役 支部長相談	五島 浩司	理事役	角館 満弘	理事役	金子 由成
理事役	葛城 信次	理事役	溝越 正信	理事役	岩淵 修
理事役	小磯 静雄	理事役	樋田 昭文	理事役	山中 才司
理事役	遠渡 俊男	理事役 事務局長補 理事役 会計担当	濱田 正徳	理事役	大波 敏弘
理事役	峰 圭三	理事役	吉田 巖	理事役	山田 勝規
理事役	岩澤 亨	理事役	室園 信宏	理事役	海野 修作
理事役	眞鍋 浩司	理事役	前田 文典	理事役	原田 昇
監事役	大津 雅紀	監事役	光石 眞通		

での政府主催の国民保護図上訓練、10月の松野官房長官による熊本・鹿児島両県への南西諸島有事の際における国民保護の取り組みについての計画策定の要請等の流れを受けて、国民保護の基本的なことを学ぶ、確認することを目的としたもので、田原支部長からその説明がありました。

また、卓話として、第24代陸上幕僚長、東洋学園大学名誉教授(安全保障論)の富澤 暉 横浜南支部特別顧問からご経験を踏まえての国民保護を含むお話を伺いました。

国民保護とは、万一、武力攻撃や大規模テロが起こった場合に、正確な情報を把握し、住民に伝え、住民が正しく避難できるようにすると共に救援、武力攻撃災害への対処を行うことですが、国、都道府県、市町村、住民などが協力して住民を守るための仕組みであり、直接住民の生命や財産を守るという意味では、防災(災害対応)と同様に地方公共団体、消防の本来の役割と言えます。国民保護法成立までの経過と関係法令等、国民保護措置、地方公共団体の計画、事態認定と避難、救援、武力攻撃災害への対処等、一連の内容を学びましたが、改めてその大変さ、難しさを感じました。

国民保護は自然の脅威に対する防災とは異なり、意図を持った相手の攻撃への対応であることから、先ずは、意図を事前に察知する情報収集能力が重要なこと。そして、躊躇しない事態認定による、より早い事前避難が重要なこと。そのためには大量の輸送手

段が必要なこと。差し迫った脅威である南西諸島有事の際には船による人員輸送が必要不可欠なこと。避難できない人のために現地にシェルターのような施設が必要なこと。自衛隊が国民保護と武力攻撃対応という2つの任務を遂行することの課題等々。そして、国民保護をスムーズに実施するには、平時からの訓練が必要不可欠であることを強く認識することとなりました。

卓話では、「85歳を過ぎて考えること」と題して、主に退官後にされた仕事、そして、これからのどう生きるのか、家族や社会に対し何を残すのか等、率直なお話を伺うことができ、自らの生活を振り返って、多くの気づきを得る時間となりました。

併せて2時間程度でしたが、内容の濃い有意義な勉強会を計画・実施して下さいました支部長に感謝してペンを置きたいと思えます。有難うございました。

(渡邊)

神奈川県隊友会横浜南支部の皆様には、平素から自衛隊神奈川地方協力本部の活動に対し、多大なご協力・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年12月22日付で自衛隊神奈川地方協力本部長を拝命いたしました大谷1佐です。前職は海上自衛隊の練習艦「かしま」艦長として、海上自衛隊の若手幹部育成のため約5か月の間、海上実習をしながら北米・南米の8か国を訪問する遠洋練習航海に参加して参りました。海上自衛官にとっては、海外派遣任務は当たり前のような時代になりましたが、やはり派遣中は日本が恋しくなるもので、極寒のマゼラン海峡を航行中は、こたつに入ってみかんと頼める幸福を夢見たものです。しかし、年始は能登半島地震により多くの方々被災され、自衛官が活動している現状を目の当たりにし、発災時には多数の方々、こたつに入



「万里一空」の精神  
神奈川地方協力本部長  
1等海佐 大谷三穂

って家族団らんの時間を楽しんでいたのだろうと思うと、自分が悠々とこたつで温まることは許されない気持ちになります。被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。また、現場で活動している同僚に敬意と感謝を表します。

さて、ご承知のとおり我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、防衛力を抜本的に強化するため、一昨年末に「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」及び「防衛力整備計画」が策定され、中長期的な防衛力強化の方向性と内容が示されました。これにより、防衛予算も増大することとなり、我々は、それらの迅速な実現に向けて日々奮闘しているところです。しかし、このような情勢下にあっても、防衛力の中核は自衛隊員であり、どんなに高度な装備品等を揃えようと、それらを運用し、いかなる任務にも即応し、確実に任務を遂行するための基盤となる人材を確保しなければ、防衛力を発揮することも出来ません。また、高度化・複雑化・専門化する環境において任務を完遂するためには、時代に適合した有用かつ多様な人材が求められております。

することはもちろんのこと、もう一つの意味として、皆が同じ空の下で勤務している、同じ空を見ていることから、結局は皆が同じ目標に向かって努力しているのだから、本部員一丸となって目標を達成すべく邁進しようということとです。

しかしながら、地方協力本部の業務遂行は職員のみでは為し得ず、皆様のご協力、ご支援が欠かせません。これまでどおり自衛隊の良き理解者として、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。結びに神奈川県隊友会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

### 遺跡発掘よもやま話

#### by 考古学宇宙へ飛ぶ

海自OB 山中才司

はじめに

皆様、お元気ででしょうか？・・・前号で「遺跡発掘入門 by 考古学」の題で考古学の面白さと“にわかうんちく”を披露し、前号では「遺跡発掘よもやま話 by 考古学宇宙へ飛ぶ」は題名が壮大過ぎて与えられた枠(字数)に収まり切れず尻切れトンボとなりましたが、編集長の温情により、今回の最終話を脱稿させて頂きました事を本文に入る前に感謝を申し上げます。

さて前回「掘る男、掘る女」の段では2名のみで紹介だけで物足りなさを

感じた方もおりましたので今回は、その段から始めたいと存じます。

#### 1 掘る男

\* 人生いろいろ

「掘る男」の前職は色々、人生もいろいろです・・・転勤25回、海上保安庁の両岡さん、現在は水産庁の非常勤の船乗り、日本海の領海を監視しています。ITはお手の物、大手電機メーカーの鴨居さんと高江さんは、自衛隊上級幹部OBの方と面識がありました。高学歴博識の大手出版会社の高山さんは、食べ歩きに料理が趣味の粋な人物です。米海軍と日本人業者間の調整官、榎山さんは友人に依頼されアウトドアエッセイを出版社に投稿していました。趣味が高じて親子の絆を題材にした「親と子の冒険旅行」を著しました。土川さんはジャズミュージシャンでベースを担当、その腕前はハイレベルだそうです。新型コロナ禍でコンサートが激減したため以前から興味を抱いていたこのバイトを選んだそうです。中堅建設会社の早川さんの堅実な仕事振りは監督等から厚い信頼を受けています。山村さんは某有名大学の先生：戦前生まれの81才は大好きな遺跡発掘で「びんころ(笑)」を目指しています。皆さん、前職でまじめに働き経済大国構築に貢献してきたお歴々です・・・近い将来、クオリティーの高い発掘資料が発刊される予感がします。

#### 2 掘る女

\* レジェンドの玉子

現場の“掘る女”は発掘経験2年未満の人が殆どで前職もいろいろですが現在は専業主婦の方が多く、このアルバイトに就いた理由も様々です・・・夫は船乗り、子育て終了、いつも明るく発掘大好き下田さん、遺跡発掘に魅了され教諭を早期退職した徳井さんの趣味は乗馬、夢は鎌倉八幡宮の”流鏑馬”で疾走すること、太陽の下で大好きな遺跡発掘をしつつダイエツトも可能なこのバイトを迷わずチョイスした大林さん、果樹園で働く平山さんは農閑期に興味のある遺跡発掘で健康体を維持し農繁期に備えています。翻訳家の山武さんは、大好きな遺跡発掘は気分転換に最適だと・・・この女性の中から前号で紹介した中塚さんの様な女性レジェンドが生まれることを期待します。

#### 3 注目の的「水中考古学」

最近陸上発掘現場でも盛んに取り入れられているデジタル3Dモデルはモデル(対象物)を微細な多面体で表現する方法です。わかり易く言えばCG表示用データに使われます。それを水中遺跡にも応用し水中考古学を飛躍的に向上させた日本人考古学者、

心に残る  
楽しい旅を  
クリエイトする



横浜市南区永田北 2-5-7  
代表取締役 川越直司  
☎・FAX 045-715-1024

山船晃太郎氏は、この世界で最も有名な最も忙しい考古学者です

世界21ヶ国で70以上の水中遺跡を調査研究した実績を持ち、その活躍はメディアで紹介されています。特に発掘の困難な沈没船にデジタル3Dモデルを活用して立体化し、沈没前の姿を再現することで遺物の年代や発掘の有無を容易に判断できるのです。これからも目の離せない存在です。

しかし水中考古学には「天敵」が存在します。トレジャーハンターと呼ばれる「盗掘者」で海底に埋没している沈没船をダイナマイト等で破壊し金目の物を運び出し、それらを売りさばいて金儲けをする輩です。昔、映画やテレビドキュメンタリーで「一獲千金」を得たハッピーエンド演出の「宝物発見」は、遺跡破壊の泥棒野郎だったのです・・・この齢で、この真実を知る羽目になった私は、どうしたらいいのでしょうか(笑)

4 宇宙考古学と銀河考古学の違い 現代の「インディ・ジョーンズ」は、人工衛星で遺跡を探すがキャッチフレーズの宇宙考古学は、文字通り衛星画像データを分析することで遺跡を発見する学問です。高解像でマルチスペクトルな画像は、地上表面の植生の違いから地下にある物体を見分け、踏査の難しい砂漠や密林を探索し古代の集落、道路、神殿、墓地なども発見できるのです。今までに古代エジプトの遺跡発見やピラミッドの探査、中国古代陵墓、古代シルクロード、ナスカの地上絵等を探査し新発見をして

います。 それでは銀河考古学とは、なんぞや?・・・主に電波望遠鏡や探査機を活用して銀河の生い立ちや進化を追跡する天文学の一分野です。「考古学」になった理由は、古い恒星の化学組成や空間運動の情報が過去の銀河を知るための「化石情報(DNA)」になっているのです。これを分析、解析することで銀河のルーツを追求する為、考古学の範疇(はんちゆう)に組み込まれたのです。

5 宇宙科学研究所(JAXA) 「宇宙空間を開拓し、地球環境や人類の生活をより良くするため」が目的で「考古学」の分野には入りません! 前文で紹介した宇宙考古学は地球を主体とした人工衛星探査、銀河考古学は銀河の生い立ち進化を追求する学問、何故か太陽系の起源を探索する「考古学」はないのです。「太陽系考古学」は存在しません。「はやぶさ」は、やってくれました!・・・太陽系起源と謎を紐解く証と痕跡が残されている小惑星「イトカワ」に降下して地表サンプルを採取し、地球に持ち帰る太陽系遺跡発掘調査の”魁(さきがけ)”となりました?

6 過去は未来へのリハーサル 探査機による小惑星探査は太陽系の起源、銀河系の起源、宇宙の謎の生い立ちを解き明かして行く鍵になる・・・それは我々が今、手作業で発掘、過去の地球(日本)を解き明かして行く小さな作業と同等ではないか?・・・ちがう!違う!いかかぶり、手前味噌だ

と袋たたきにされるのを覚悟して云えば「過去は未来へのリハーサル」の星、地球という惑星の探査を手作業でしている開拓者(フロンティア)と胸を張ってもいいアルバイトではないかと思うのです。時給1100円で時空をさまよえる体験ができるのは安いと思いませんか!・・・少々、体力は必要ですが・・・ロマンのあるアルバイトです。



「遺跡発掘よもやま話」を長々と披露して参りました。自衛隊35年、大学勤務11年、海運会社2年と堅い職場でまじめに?勤務して参りましたが、遺跡発掘は別格です。いろいろな人生を歩んできた人達と発掘作業を通じて”よもやま話”をするのは「目から鱗が落ちるほど」楽しく残り少ない人生の糧になりつつあります。今宵は宇宙に彷徨する小惑星という遺跡に焦点を合わせて目を凝らし歴史を変える”ブツ”を探して見ようと思います。

「EMクラブ」

海自OB 石橋啓志

ラジオから「オイルショック」という言葉が聞こえてきました。確か1970年代に原油高騰で世界経済が大混乱し、日本でも「トイレットペーパー

不動産の管理・仲介・売買
不動産のことなら
(株) 山野井
営業時間 AM9:00~PM7:00 定休日:水曜日
□本社・タウンサイト店
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-13-23
TEL.045-843-2882・5700/FAX.045-845-0550
ゆめおおおか店
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1
TEL.045-845-1818/FAX.045-845-1813
□屏風ヶ浦店
〒235-0023 横浜市磯子区森 3-18-5
TEL.045-751-4191/FAX.045-751-4114

飲んで歌って踊れる店
スタッククラウン
ミュージックパブ
有限会社 館グループ
洪福寺店 ☎045(316)2025
館(やかた)本店 ☎045(313)1289

買占め騒動」が問題になった事があつたなあ・・・と思ひ出しながら聞いていました。

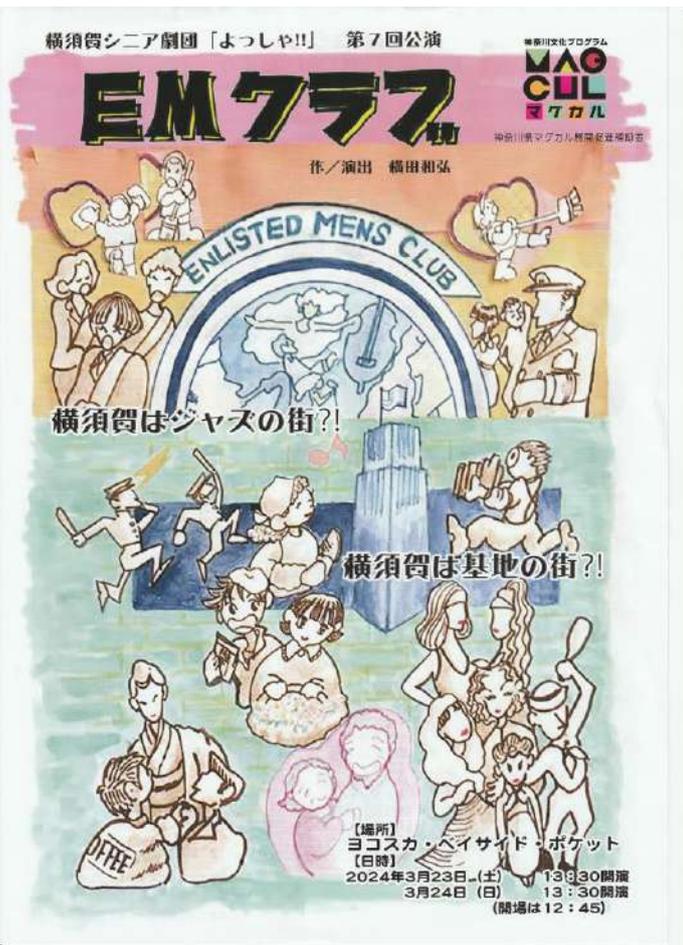
ラジオでは、「近頃は、人の顔は浮かぶのだが、名前が出てこない」とか「少しの段差で転んだ」とかの話が聞こえてきます。話しているのは、確かお笑いタレントだと思ひますが、何のことかと耳を傾けていると、話題は「近頃は、年をとつたと感じるよ」ということであります。まだ還暦前だろうと思うタレント同士が、「オイルショック」ではなく「老いるショック」を話題にしていたわけでした。まあ、わが身にしても、確かに、老いを感じざるを得ない今日この頃ではあります。

以前に投稿させていただきましたが、神奈川県では2018年から「マガカル」（マガネットカルチャー）という「文化芸術の魅力で人をひきつけ、地域のにぎわいを作り出す」活動が実施されています。そして、私は、「共生共創事業」（障害、年齢にかかわらず共に生き、共に創造しようという活動）の一つである「横須賀シニア劇団よっしや！！」に2019年8月に入団し、今も活動を続けています。毎週2回（火曜日と金曜日の午後）の稽古では、声出しや柔軟体操等のルーティーンに始まり、「外郎売（ういろううり）」の台詞を教材にしたワークショップが行われます。その後、年2回の公演に向けての稽古が行われます。約3時間の稽古時間は、毎回、何かの気づきがあり、いわゆる「ボケ

防止」の刺激があるものです。また、公演に向けた稽古では、配役をもらった後は、自分なりに役になりきろうと試行錯誤し、演出家からダメ出しをもらい、また、工夫するといった繰り返しで、大げさに言えば、稽古の時は、普段の自分とは、まさに「別人格」になったような経験を楽しむ時間です。これが、また、病みつきなのです。

現在は（この投稿は、2月12日に提出しました）、3月23日（土）と24日（日）に横須賀汐入にある「横須賀芸術劇場ベイサイドポケット」で上演する「EMクラブ」という劇の稽古中です。「EMクラブ」とはご存知の方も多いと思いますが、「旧海軍下士官兵集会所」だった施設が、戦後、アメリカに接収され、米軍人のための施設として使用されたもので、「Enlisted Mens Club」のこ

とです。横須賀市のホームページによれば、『「海軍下士官集会所」の設立は、明治35年（1902年）であり、大正12年（1923年）の関東大震災後に改築されたが、昭和13年（1938年）に新築された。新築された「海軍下士官兵集会所」は、宿舎・浴室・食堂・売店などがあり、1階には相撲場・柔剣道場、2階には劇場があり、多くの軍人やその家族が利用したという。戦後、駐留軍のEMクラブとして使用され、昭和58年（1983年）10月に日本政府に返還された。その後、横須賀市の総合文化センター構想の中で、横須賀芸術劇場やホテルなどが開発設置された。』とあります。EMクラブの解体は、平成2年（1990年）だったそうです。



### 隊友会を応援します！



光洋システム株式会社

**\* 事業内容**

- ・ ITソリューション システム事業
- ・ アプリケーション システム開発事業
- ・ 組み込みシステム開発事業



代表取締役社長： 兼俣 和夫

**◎ 所在地**

〒220-0004

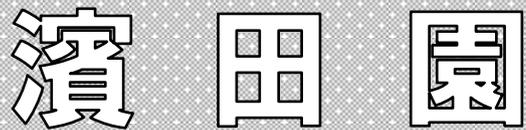
横浜市西区北幸2-15 東武横浜第2ビル

URL ht t p: www. koyo- syst em. co. j p

TEL. 045-313-3393

## 造園・緑化

株式会社



代表取締役

あいほら 栗飯原

吉伸

〒232-0066

横浜市南区六ッ川 3-3-1

☎ : 045 (741) 3215

FAX : 045 (741) 3464

劇は、1950年前後の「EMクラブ」の内と外の明暗を扱っています。戦後間もない横須賀の街。「EMクラブ」の中ではジャズが流れ、ダンスに興ずる人々がいる一方、門の外には、まだ戦後の苦しい日本人の生活があった時代です。ある日本人ジャズマンが作った曲をEMクラブの舞台で演奏しようという話をめぐり、登場人物達が一喜一憂します。私は、EMクラブのジャズ楽団のトランペッター兼バンドのマネージャーという配役をもらいました。もらった台本を読んで、とりあえず自分の役どころを自分で設定するわけですが、私は、学生時代にジャズをやっている、学徒出陣で出征したものの終戦で戻ってきた30歳代の男性ということと役作りに工夫しているところとです。芝居では一応の時代考証はしますが、自由な発想で役作りの工夫を膨らませていくのも、演劇の楽しみです。こういった頭の体操もセリフ覚えと同じく「ボケ防止」の刺激とっています。

60歳（還暦）の時は、まだまだ若いぞ！と奮起したのですが、70歳（古希）を迎えた時は、諸先輩には失礼な物言いとなりますが、さすがに高齢者の仲間入りか・・・と思いましたが。案の定、右ひざ痛を発症し、整形外科の受診結果は「老化による膝軟骨のすり減りによるもの」と言われ、治療法は「筋肉をつけて膝をカバール」ことだそうです。70歳になった時に「敬老パス」（年間ウン



懐かしいバイク  
陸自予備自衛官 岩澤 亨

数年前のことである。ネットオークションを覗いていると、若い頃に乘っていた懐かしいバイクが出品されていた。バイクと言っても原付である。詳細を調べるとエンジンがふき上りが良くない。バッテリーが不調とのことであった。2サイクルエンジンの古いバイクは構造が単純なので何とかなるだろうと思いき早落札した。埼玉県からの出品であったので、友人から

千円の支払いで、横浜市内のバス等が乗り放題できるパス）を入手しましたが、近くへ行くときにもバスを利用するようにになり、かえって足腰が弱ったような印象がありましたので、利用を止めました。人生100年時代、男性の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、72.68歳（2019年発表）だそうです。「老いるショック」なんのその、まだまだ自力で頑張りまっせ！なんて最後は関西弁やねん！？

軽BOX車を借りて現地まで引き取りに行った。前のオーナーからは、古いものなのでバイク屋さんのプロの目から点検してもらった方が良いとのアドバイスを受けた。店舗でインテリアとして展示していたもので外観はとても綺麗であった。

私は20代の頃、静岡にある食品会社の研究所で勤務をしていた。寮は研究所と同じ敷地内であった。兼務していた関連会社の研究開発課は隣町にあり通勤は乗用車で行っていた。業務に関係がある実験温室や農場は半径7km圏内に点在しており、農業指導をしていた契約農家への訪問等も多かった。そのため、何か補助的な移動手段があれば便利だなと考えていた。そんな時、職場の先輩からヤマハチャピイという原付を譲ってもらった。78年式の3速の遠心クラッチ付きで色はマスカットグリーンであった。女性をターゲットにしたスクーターに近いバイクで、当時のミニバイクブームに乗ったかわいらしいものであった。スカートでも乗れる様に設計されているため白衣を着ている問題なく乗れた。研究所にいた5年間非常に役立つてくれた。

という改良余地があるバイクであった。燃料計も無いためガス欠を起こすとリザーブタンクに切り替え、近くのガソリンスタンドに駆け込み燃料補給を行う必要があった。こういった使い勝手の悪さの為かわずか1年で改良型が発売され、今では当たり前の横開きシートと燃料計が付いたものとなった。多少の使い勝手の悪さは有るが『赤くて小さくて、かわいい』というキャッチフレーズの通り、デザイン的にはとてもかわいらしく、本格的に乗りたいと思えば早速レストアにかかった。

オークションで手に入れた2号機はさらに古い73年式の初期タイプのもので、2速の遠心クラッチ付で縦にシートが開く珍しいものであった。色は赤であったが丁度還暦だったので情熱的な赤も良いなと思った。シート下にあるタンクに燃料を入れる時に、シートを片手で支えないといけない

タイヤは古いものだったのでテスト走行ですぐに割れてきました。センタースタンドも摩滅しており後部タイヤが地面についてしまうためタイヤと共に交換の必要があった。自衛官募集相談員仲間のバイクショップに持ち込み初期の点検とともにタイヤを交換してもらった。センタースタンドはオークションで手に入れた。丁寧に錆取りを行い、塗装をして丸ごと交換した。

エンジンの調子が良くなり、近所にある鎌倉山の急な坂道も難なく上るようになった。

最後に残ったのは電気系統である。バイクは発電機が回転することで発電しているため電気は交流である。レクタファイアという部品でこれを直流に変えて、ウインカーやホーンを作動させ、バッテリーの充電も行っている。当然エンジンの回転数が高くなればなるほど電圧が上がる。73年当時のバッテリーは開放型の液体式で、電圧が高くなるとバッテリー液が気化して余分な電圧を調整していた。このため定期的にバッテリー液を足す必要があった。試しに回転数を上げて測ってみると6V仕様のものに16Vも流れていた。現在の密閉式のものだと充電が出来ずに不調となってしまう。このためレギュレーターという電圧を抑える部品を追加したところ、すぐにこの不具合が改善され、電気系統も安定し、調子良く走る様になった。これからの季節は気温も下がるのでエンジンが焼き付く心配もなくなる。天気が良い日に近所を走るのには実に気持ちが良いものである。

うにはまだ早いと思うが、まだまだ頑張らねばと思う今日この頃である。

「忘年会に参加して」

陸自OB 原田 昇

新型コロナウイルス感染症が五類になって初めての懇親会(忘年会)が昨年12月16日の夕刻、中華街で行われました。普段、なかなかお目に掛かれない諸先輩の方々と近接してお話しする機会を得て、そうした経験の少ない私にとりましては、願っても無い貴重な体験でした。

宴会当初、私は極めて緊張した状態でしたが、酒杯を重ね、共通した教育体験、居住地体験等を語るうちに、懐かしさがこみ上げてリラックス状態となりました。こうした気分になれる宴会はここ数年無かったので、隊友会ならではのものと、染みじみ有り難さを感じた次第です。

お酒の力を借りて、諸先輩に対して、失礼を顧みず、矢継ぎ早に、多くの質問を行いました。今回の宴会は、私としましては、まことに身勝手ですが、いわゆる「無礼講」的なものと判断し、行動しましたこと、お許しただきたいと思えます。

若い人の間では、「無礼講」という言葉をあまり耳にしないようですが、私達が若かりし頃は、職場の上司が、「今日は無礼講だ。思っていることを何でも話せ」と言われたことがあります。昭和50年代の私達新人は「無礼

講」とは地位、役職、年齢などの上下を殊更に考えないで、堅く礼儀を抜きにしたものと捉えて、意見具申したのでした。

無礼講だからといって何を言っても構わないというのではなく、そこには礼節というものがあるはずでしたが、当時の私は若気の至りで、上司に食ってかかったことがあり、出来ていない自分をさておいて、上司にあるべき姿を語ったような、思いつきで、顔から火が出るような恥ずかしい体験を有しております。今思い返しまして、私の暴言に対して、怒らずに優しく受け止めていただいた当時の上司に感謝いたしております。

今では普段、言えないことは酒の力を借りて言っただけな気がしますが、忘年会に参加して昔の事をふと思いだし、とりとめの無い感想を述べさせていただきました。



事務局便り

1. 会員情報(敬称略)

- (1) 新入会員(氏名・出身・区)
- 野末 善子 陸南
- 乾 悦久 海西
- 森 博之 海戸塚

- (2) 訃報(氏名・享年・出身・区・逝去)
- 今野 利夫 95 海 港南 5.9
- 後藤 彰 96 空 金沢 5.10

2. 連絡事項

各種情報が神奈川県隊友会のホームページから発信されています。ご活用下さい。また、メールアドレスを連絡頂いた方に、支部からも各種情報をアナウンスしています。支部からは、携帯のメールアドレスを考慮して内容をコンパクトにして送信しています。メールアドレスをお持ちの方は、是非、事務局 subsonicorp2@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

何らかの障害で、以前は来ていたのに最近届いてないという方もあると思います。そのような場合は、恐れ入りますが前記アドレスまでご連絡をお願い致します。

編集後記

この「隊友よこはま南」は、会員の皆様のご協力があったるの機関紙です。一言言いたい、雑感等、思う事がありましたら、投稿をお待ちしております。

編集子

